



黒糖焼酎の製造現場で働く中山さん(左)と林さん。23日、宇検村湯湾

大学生通じ 島の魅力発信

「春の島キャン」群島内で展開

（株）カケハシスカイソ
リユージョンス（東京
都）が手掛ける島おこ
しをテーマとした大学
生のインターンシップ
（就業体験）事業「島
キャン」。今春は2、3

月に奄美5島で約50
人が就業を予定してい
る。受け入れ事業者は
「島の文化を肌で感じ
て、情報発信してくれ
ればうれしい」と期待
を寄せている。

島キャンは2014
年夏に始まり、初回は
奄美群島（奄美大島、
沖永良部島、与論島）

と北海道・礼文島、島
根県・隠岐諸島の3地
域で展開。2カ月間で
約170人の大学生が
就業した。

「15年春の島キャン」
は奄美群島のみで実施
している。学生の受け
入れ先として、新たに
徳之島と喜界島の事業
所も名乗りを上げてい
る。

宇検村の（株）奄美大島
開運酒造では12日から
25日まで、東洋大学3
年の中山良介さん（20）
、埼玉県出身の同大
2年の林夏未さん

（20）＝神奈川県出身
の2人が就業。黒糖
焼酎造りに汗を流して
いる。

2人は「名前に『に
い』『おし』を付けて
呼び合う仲の親しさに

驚いた」「飲み会に参
加して、集落ことの結
束力の強さを感じた」
と島ならではの文化を
体感。適時、フェイス
ブックなどのSNSで
島の魅力を情報発信し
ているという。

カケハシ社島キャン
広報担当の山田佳那さ

んは「学生の情報発信
力は高く、評判が口コ
ミで広がっている。3
月には15年夏の島キャ
ン参加者の募集が始ま
る。奄美群島を中心に、
礼文島と隠岐諸島の3
地域で学生300人の
就業を目指す」と話し
ている。